

平成 26 年度 事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

学校法人 **東京農業大学**

- ◆東京農業大学
- ◆東京情報大学
- ◆東京農業大学短期大学部
- ◆東京農業大学第一高等学校
- ◆東京農業大学第二高等学校
- ◆東京農業大学第三高等学校
- ◆東京農業大学第一高等学校中等部
- ◆東京農業大学第三高等学校附属中学校

目 次

I	平成26年度事業報告について	1
II	学校法人の概要	2
	1 設置する学校・学部・学科等	3
	2 設置する学校・学部・学科等の入学定員、学生生徒数の状況	5
	3 設置する学校・学部・学科等の学年別学生生徒数の状況	7
	4 役員・教職員の概要	9
	(1) 役員・評議員の状況	9
	(2) 職員の状況	10
III	事業の概要	11
	1 教育研究の推進	11
	2 国際連携の推進	12
	3 教育研究施設設備等の整備（主要事業）	13
	4 平成26年度卒業生進路状況	15
	5 平成27年度入学試験状況	17
IV	財務の概要	18
	1 資金収支計算書	18
	2 消費収支計算書	19
	3 貸借対照表	21
	4 資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の経年比較	22
	(1) 資金収支計算書の経年比較	22
	(2) 消費収支計算書の経年比較	23
	(3) 貸借対照表の経年比較	24

学校法人東京農業大学



東京農業大学/東京農業大学短期大学部(世田谷キャンパス)



東京農業大学 農学部(厚木キャンパス)



東京農業大学 生物産業学部(オホツクキャンパス)



東京情報大学



東京農業大学第一高等学校
東京農業大学第一高等学校中等部



東京農業大学第二高等学校



東京農業大学第三高等学校
東京農業大学第三高等学校附属中学校

I 平成26年度事業報告について



学校法人東京農業大学
理事長 大澤 貫寿

学校法人東京農業大学は、榎本武揚によって徳川育英会を母体とする「育英農科」として明治24年に設立され、初代学長横井時敬先生が掲げた建学の精神「人物を畑に還す」、教育の理念「実学主義」を柱に、東京農業大学、同短期大学部、東京情報大学、併設高校3校及び中学校2校を運営し、常に社会が求める人材像とその教育に対応する改革を推進しています。そのためには、法人全体はもとより各部門の財政安定化、健全化なくして、これからの各教育・研究部門の発展はないと考えています。

平成26年度事業は、1. 財政健全化への取り組みを継続する、2. 教育研究の充実・発展を図る（建学・教育の理念に基づく教育研究の実践）、3. 学校法人の諸問題の解決に向けて具体的に対応することを基本方針としました。各部門の財政状況に応じ財政を安定化させ教育研究を充実・発展させるために、法人傘下の学校がそれぞれに将来のあるべき姿を検証し、社会が求める人材の育成とその教育・研究力の向上に取り組みました。改革を確実に実行するために、戦略室を中心として法人全体の経営戦略及び将来構想に係る調査分析を行い、現実対応と将来を見据えた法人運営の根幹となる中長期計画の策定を進め各学校の改革施策に反映しています。

また、教学改革と事務支援が一体となり迅速にそして的確に改革を推進する事務組織に改組しました。

本法人の柱である東京農業大学は、我が国で最大規模の農学系総合大学として平成28年に創立125周年を迎えます。その記念事業として農学の拠点となる「東京農業大学国際センター」建設することとし、東京農業大学の今後の飛躍にご理解ご協力いただく募金活動を実施しています。

東京農業大学のみならず法人傘下の学校の取り組みにご支援いただけるよう、法人に募金課を設置し幅広いサポーター確保に努めています。

(各学校の取り組み)

東京農業大学は、社会の要請に的確に応え、有為な人材を輩出する大学としての基盤を強固にするため、教育研究体制を質的に再編し、18歳人口の漸減に対応する全学的な学部、学科改組の検討を進め、「農と生命を科学し“生きる”を支える東京農大」となる改革を進めています。平成26年度は、「食品安全健康学科」を設置して6学部22学科体制としました。併せて短期大学部栄養学科の入学定員の変更を行いました。

平成26年度から副学長3人の担当制による明確なガバナンス体制の構築と大学改革を推進する大学改革推進室、大学院の高度化・活性化の事務支援を図る大学院課、農学部長による学部運営支援の学部長事務室を設け事務支援体制を強化しました。

研究分野では、科学研究費補助金新学術領域研究（研究領域提案型）「マイクロエンドフェノタイプによる精神病態学の創出」、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「生命科学と情報科学の融合による農学研究の拠点形成」など、世界水準の学術研究を視野に入れた先端研究の活性化や産官学連携を推進し、その研究成果を社会に還元しました。

その一つとして、東京農業大学の独創的かつ先端的な学術研究基盤の向上と新たな分野への挑戦を図る「東京農業大学先端研究プロジェクト」の10周年記念シンポジウム（平成26年12月2日）を開催し、研究の進展と発展の成果報告を行いました。

新たに米国コーネル大学やスリランカ国ペラデニア大学、ミャンマー国イェジン農科大学と協定を締結しました。25カ国・地域・31校の海外協定校と連携した教育研究体制の充実を図り、グローバル化を推進しています。

社会貢献では、東日本大震災復興プロジェクト平成26年度相馬復興支援プロジェクト成果現地報告会（平成27年3月1日）「相馬地方の新しい農林業創造の方向と技術一津波・放射能・風評を超えて」を開催、福島県相馬で農業の再生と地域活性化に継続して取り組んでいます。

世田谷キャンパスは、学部・学科改組に基づく教育研究の推進を図る新研究棟建設の具体的な構想を策定しました。また、新研究棟建設着工までの間、予定地を造園科学科実習等で芝張施工を行い芝生広場化して癒し・憩いの場（ユリノキ広場）としました。

農学部は、地域連携の一環として福島県矢吹町と東日本大震災からの復興支援、福島原発事故の風評被害からの脱却等に向けた地域活性化と教育研究の推進の連携協定を結びました。また、学生生活環境の充実を図るため、コンビニエンスストア（セブンイレブン）を誘致するとともに、課

外活動の中心的施設である新学生会館建設を進めています。(平成27年9月完成予定)

生物産業学部は、生物産業の中核拠点形成のもと、網走市や紋別市等の地域と連携した特色ある教育研究を進め、フィールド研究、地域貢献に取り組んでいます。さらに日本政策銀行や企業を巻き込み生物産業学部ならではのフィールドを生かした特色ある実践的人材養成に努めています。

東京情報大学は、確実な再生を果たし安定した大学経営を実現するため、総合情報学科定員の適正化と資格養成学部である(仮称)看護学部新設を検討しており、平成29年度(予定)改組を目指して準備を開始しました。また、学生教育と生活指導に重点を置いた学生指導を行い、退学者の減少や学習意欲の向上に効果が表れつつあります。

さらに千葉市等との地域連携や企業等との産学連携、千葉県高校との高大連携等により、地域活性化、地域振興、人材育成に取り組まれました。

第一高等学校・同中部は、中高一貫校としての進学実績とともに理科の特色ある教育が社会から高い評価を受けています。さらに社会からより高く評価される学校になるべく、思考・探求型の特色ある教育の充実や適切な進路指導と進学実績の向上、ならびに教育施設・設備の充実に取り組んでおり、その成果が実を結びつつあります。

第二高等学校は、教育内容の抜本的な改革に着手し、課外活動の成果と大学への合格実績向上のための目標を明確にして生徒募集を行ってきました。その目標を達成するためには授業の質の向上が必要不可欠であり、大手予備校の協力で授業改善を実施し、平成27年度から進学実績の向上と課外活動の強化による特徴ある高校へと進化するための3コース制とする準備をしました。

第三高等学校・同附属中学校は、少子化の影響や新たな交通網の広がりの影響を受けて生徒を確保するための状況は極めて厳しい状況にあります。この状況を打開するため、戦略室との連携のもと改革改善委員会を設立して、学校が一丸となって教育力の向上への取り組みを開始しました。

また、第三高等学校は、平成26年度に創立30周年を迎えました。これを契機に更なる躍進に向け全力で改革に取り組んでいきます。

II 学校法人の概要



創設者 榎本 武揚



初代学長 横井 時敬

学校法人東京農業大学が設置する学校は、大学、短期大学、高等学校及び中学校を合わせて8校となりました。これら設置学校の学生生徒総数は、19,855名(平成26年5月1日現在)です。学校法人東京農業大学の中核である東京農業大学は、明治24年3月6日、徳川育英会を母体とした私立育英農科として東京市麹町区飯田河岸第4号の3(現在のJR飯田橋駅構内)に創立されました。創設者は、子爵榎本武揚です。その後、大正14年5月18日、旧大学令による(財)東京農業大学となりました。初代学長は、近代農学の祖、横井時敬博士です。

現在の農学系大学の中で、戦前、農学部があり卒業生を輩出した大学は、北大、東大、京大、九大の4帝国大学と私立の東京農業大学の5大学だけでした。このように東京農業大学は、私学の農学系大学では戦前唯一の大学で、我が国で最も歴史が古く、学生数、教員数で我が国最大規模の農学系総合大学に発展し平成26年度で創立123年目を迎えました。東京農業大学の建学の理念は「人物を畑に還す」であり、教育の理念は「実学主義」です。実学主義とは、社会の現実を直視し、考証的な研究を基礎として諸々の改革を提唱する実用的で実際的な学問のあり方をいいます。横井時敬博士はこのことを「稲のことは稲にきけ、農業のことは農民にきけ」の言葉で表しました。これらの理念は、学校法人東京農業大学傘下の各学校における教育研究の支柱となっています。

創設者 榎本武揚(えのもと たけあき・1836-1908)

幕臣榎本田兵衛武規の次男として江戸御徒町に生まれる。長崎海軍伝習所を卒業後幕府第一号留学生としてオランダに留学。幕府海軍副総裁。函館五稜郭で明治新政府軍と戦い敗れたが、その才能が惜しまれ明治政府で通信大臣(初代)、文部大臣、外務大臣、農商務大臣を歴任。ロシア特命全権公使(1875年千島・樺太交換条約調印)、地学協会副会長、日本家禽協会会長、日本気象学会会頭など政界、官界、学会に貢献。子爵の位を授かる。育英農科(現東京農業大学)を創設。東京農業大学の生みの親。享年73歳。

初代学長 横井時敬(よこい ときよし・1860-1927)

肥後国熊本城下に藩士久右衛門兵時教の四男として生まれる。東京駒場農学校農学本科を卒業、東京帝国大学農科大学教授(農学博士)。種籾の塩水選種法(高塩分濃度塩水に種籾を浮かべ種籾の良悪を判断できる)を考案。1895年榎本武揚の招聘で東京農学校(現東京農業大学)評議員就任。1907年大日本農会附属私立東京高等農学校校長、1911年東京農業大学初代学長に就任。農業の担い手、農村のリーダー教育を目的に質実剛健、独立不羈、自強不息の気風高揚に努め、実学を重視した東京農業大学の育ての親。享年67歳。正三位勲一等瑞宝章を授かる。

1 設置する学校・学部・学科等

< 学校等の名称 >

< 開設年度等 >

東京農業大学

大学院農学研究科

農学専攻	前期課程 昭和 28 年	後期課程 昭和 37 年
畜産学専攻	前期課程 昭和 61 年	後期課程 平成 2 年
バイオセラピー学専攻	前期課程 平成 22 年	後期課程 平成 24 年
バイオサイエンス専攻	前期課程 平成 14 年	後期課程 平成 16 年
農芸化学専攻	前期課程 昭和 32 年	後期課程 昭和 34 年
醸造学専攻	前期課程 平成 2 年	後期課程 平成 14 年
食品栄養学専攻	前期課程 昭和 61 年	後期課程 平成 14 年
林学専攻	前期課程 昭和 61 年	後期課程 平成 2 年
農業工学専攻	前期課程 平成 2 年	後期課程 平成 14 年
造園学専攻	前期課程 平成 2 年	後期課程 平成 14 年
国際農業開発学専攻	前期課程 平成 2 年	後期課程 平成 14 年
農業経済学専攻	前期課程 昭和 28 年	後期課程 昭和 37 年
国際バイオビジネス学専攻	前期課程 平成 14 年	後期課程 平成 16 年
環境共生学専攻	後期課程 平成 2 年	

生物産業学研究科

生物生産学専攻	前期課程 平成 22 年	
アクアバイオ学専攻	前期課程 平成 22 年	
食品香粧学専攻	前期課程 平成 22 年	
産業経営学専攻	前期課程 平成 22 年	
生物産業学専攻	前期課程 平成 5 年	後期課程 平成 7 年

農学部

農学科	昭和 24 年
畜産学科	昭和 24 年
バイオセラピー学科	平成 18 年

応用生物科学部

バイオサイエンス学科	平成 10 年
生物応用化学科	平成 10 年
醸造科学科	平成 10 年
食品安全健康学科	平成 26 年
栄養科学科	
食品栄養学専攻	平成 10 年
管理栄養士専攻	平成 10 年

地域環境科学部

森林総合科学科	平成 10 年
生産環境工学科	平成 10 年
造園科学科	平成 10 年

国際食料情報学部

国際農業開発学科	平成 10 年
食料環境経済学科	平成 10 年
国際バイオビジネス学科	平成 10 年

生物産業学部

生物生産学科	平成元年
アクアバイオ学科	平成 18 年
食品香粧学科	平成元年
地域産業経営学科	平成元年

< 学校等の名称 >

< 開設年度等 >

東京情報大学

大学院総合情報学研究科

総合情報学専攻

前期課程 平成 4 年

後期課程 平成 11 年

総合情報学部

情報システム学科

平成 13 年

環境情報学科

平成 13 年

情報ビジネス学科

平成 13 年

情報文化学科

平成 8 年

総合情報学科

平成 25 年

東京農業大学短期大学部

生物生産技術学科

平成 4 年

環境緑地学科

平成 4 年

醸造学科

昭和 25 年

栄養学科

昭和 31 年

東京農業大学第一高等学校

(全日制の課程) 普通科

昭和 25 年

東京農業大学第二高等学校

(全日制の課程) 普通科

昭和 37 年

東京農業大学第三高等学校

(全日制の課程) 普通科

昭和 60 年

東京農業大学第一高等学校中等部

平成 17 年

東京農業大学第三高等学校附属中学校

平成 21 年

2 設置する学校・学部・学科等の入学定員、学生生徒数の状況

(平成26年5月1日現在)
(単位:人)

学校名等			入学定員(1)	入学者(2)	(2)÷(1)	編入定員(3)	編入学者(4)	(4)÷(3)	収容定員(5)	現員(6)	(6)÷(5)	
東京農業大学	大学院 農学研究科	博士前期課程	農学専攻	14	12	0.86				28	28	1.00
			畜産学専攻	12	12	1.00				24	20	0.83
			バイオセラピー学専攻	10	6	0.60				20	15	0.75
			バイオサイエンス専攻	30	36	1.20				60	74	1.23
			農芸化学専攻	25	27	1.08				50	51	1.02
			醸造学専攻	12	18	1.50				24	37	1.54
			食品栄養学専攻	12	10	0.83				24	19	0.79
			林学専攻	12	7	0.58				24	18	0.75
			農業工学専攻	8	4	0.50				16	11	0.69
			造園学専攻	12	12	1.00				24	21	0.88
			国際農業開発学専攻	12	11	0.92				24	21	0.88
			農業経済学専攻	10	7	0.70				20	11	0.55
			国際バイオビジネス学専攻	12	9	0.75				24	19	0.79
			小計	181	171	0.94				362	345	0.95
			博士後期課程	農学専攻	5	1	0.20				15	3
	畜産学専攻	4		2	0.50				12	7	0.58	
	バイオセラピー学専攻	3		1	0.33				9	7	0.78	
	バイオサイエンス専攻	6		2	0.33				18	9	0.50	
	農芸化学専攻	5		1	0.20				15	5	0.33	
	醸造学専攻	2							6	2	0.33	
	食品栄養学専攻	2		2	1.00				6	7	1.17	
	林学専攻	4		1	0.25				12	2	0.17	
	農業工学専攻	2							6	4	0.67	
	造園学専攻	3							9			
	国際農業開発学専攻	2		3	1.50				6	4	0.67	
	農業経済学専攻	5		2	0.40				15	5	0.33	
	国際バイオビジネス学専攻	5	1	0.20				15	7	0.47		
環境共生学専攻	5	4	0.80				15	13	0.87			
小計	53	20	0.38				159	75	0.47			
計	234	191	0.82				521	420	0.81			
大学院 生物産業学 研究科	博士前期課程	生物生産学専攻	7	3	0.43				14	15	1.07	
		アควアバイオ学専攻	5	3	0.60				10	9	0.90	
		食品香粧学専攻	5	6	1.20				10	11	1.10	
		産業経営学専攻	3	1	0.33				6	2	0.33	
	小計	20	13	0.65				40	37	0.93		
博士後期課程	生物産業学専攻	8	4	0.50				24	18	0.75		
計	28	17	0.61				64	55	0.86			
大学院計	262	208	0.79				585	475	0.81			
農学部	農学科	220	250	1.14	16	16	1.00	912	1,063	1.17		
	畜産学科	180	190	1.06	10	3	0.30	740	831	1.12		
	バイオセラピー学科	140	164	1.17	10	6	0.60	580	664	1.14		
	小計	540	604	1.12	36	25	0.69	2,232	2,558	1.15		
応用生物科学部	バイオサイエンス学科	140	169	1.21	10	10	1.00	580	702	1.21		
	生物応用化学科	140	161	1.15	10	10	1.00	580	657	1.13		
	醸造科学科	140	179	1.28	20	20	1.00	600	710	1.18		
	栄養科学科(食品栄養学専攻)				8	8	1.00	256	267	1.04		
	栄養科学科(管理栄養士専攻)				4	4	1.00	248	252	1.02		
	食品安全健康学科	140	158	1.13				140	158	1.13		
	栄養科学科	80	78	0.98				80	78	0.98		
小計	640	745	1.16	52	52	1.00	2,484	2,824	1.14			
地域環境科学部	森林総合科学科	140	165	1.18	6	7	1.17	572	665	1.16		
	生産環境工学科	140	148	1.06	3			566	649	1.15		
	造園科学科	140	172	1.23	20	19	0.95	600	693	1.16		
小計	420	485	1.15	29	26	0.90	1,738	2,007	1.15			
国際食料情報学部	国際農業開発学科	140	161	1.15	10	10	1.00	580	690	1.19		
	食料環境経済学科	220	256	1.16	10	10	1.00	900	1,070	1.19		
	国際バイオビジネス学科	170	197	1.16	5	6	1.20	690	816	1.18		
小計	530	614	1.16	25	26	1.04	2,170	2,576	1.19			
生物産業学部	生物生産学科	100	115	1.15	10	8	0.80	420	484	1.15		
	アควアバイオ学科	80	96	1.20		1		320	382	1.19		
	食品香粧学科	80	92	1.15	12	11	0.92	344	389	1.13		
	地域産業経営学科	90	106	1.18	5	6	1.20	380	433	1.14		
	小計	350	409	1.17	27	26	0.96	1,464	1,688	1.15		
学部計	2,480	2,857	1.15	169	155	0.92	10,088	11,653	1.16			
大学計	2,742	3,065	1.12	169	155	0.92	10,673	12,128	1.14			

学校法人 東京農業大学 2014

(平成26年5月1日現在)

(単位:人)

学校名等				入学 定員 (1)	入学 者 (2)	(2) ÷ (1)	編入 定員 (3)	編入 学者 (4)	(4) ÷ (3)	収容 定員 (5)	現員 (6)	(6) ÷ (5)	
東京 情報 大学	大学院 総合情報学 研究科	博士前期課程	総合情報学専攻	15	7	0.47				30	13	0.43	
		博士後期課程	総合情報学専攻	3	2	0.67				9	3	0.33	
		計			18	9	0.50				39	16	0.41
	総合情報学部		総合情報学科		500	472	0.94				1,000	933	0.93
			情報システム学科					7	1	0.14	284	299	1.05
			環境情報学科					9	2	0.22	258	271	1.05
			情報ビジネス学科					11			250	193	0.77
			情報文化学科								270	143	0.53
	計				500	472	0.94	27	3	0.11	2,062	1,839	0.89
	大学計				518	481	0.93	27	3	0.11	2,101	1,855	0.88
東京農業大学短期大学部	生物生産技術学科			130	153	1.18				260	300	1.15	
	環境緑地学科			70	86	1.23				140	170	1.21	
	醸造学科			80	94	1.18				160	188	1.18	
	栄養学科			100	104	1.04				250	264	1.06	
計				380	437	1.15				810	922	1.14	
東京農業大学第一高等学校 (全日制の課程) 普通科				325	349	1.07				975	1,045	1.07	
東京農業大学第二高等学校 (全日制の課程) 普通科				560	592	1.06				1,680	1,808	1.08	
東京農業大学第三高等学校 (全日制の課程) 普通科				400	432	1.08				1,200	1,334	1.11	
東京農業大学第一高等学校中等部				175	189	1.08				525	551	1.05	
東京農業大学第三高等学校附属中学校				90	52	0.58				270	212	0.79	
学生生徒数 合計				5,190	5,597	1.08	196	158	0.81	18,234	19,855	1.09	

3 設置する学校・学部・学科等の学年別学生生徒数の状況

(平成26年5月1日現在)
(単位:人)

学校名等	博士前期課程			博士後期課程				計	
	1年	2年	小計	1年	2年	3年	小計		
大学院 農学研究科	農学専攻	12	16	28	1		2	3	31
	畜産学専攻	12	8	20	2		5	7	27
	バイオセラピー学専攻	6	9	15	1	2	4	7	22
	バイオサイエンス専攻	36	38	74	2	3	4	9	83
	農芸化学専攻	27	24	51	1		4	5	56
	醸造学専攻	18	19	37		1	1	2	39
	食品栄養学専攻	10	9	19	2	4	1	7	26
	林学専攻	7	11	18	1	1		2	20
	農業工学専攻	4	7	11		2	2	4	15
	造園学専攻	12	9	21					21
	国際農業開発学専攻	11	10	21	3	1		4	25
	農業経済学専攻	7	4	11	2	1	2	5	16
	国際バイオビジネス学専攻	9	10	19	1	4	2	7	26
	環境共生学専攻				4	4	5	13	13
小計	171	174	345	20	23	32	75	420	
大学院 生物産業学 研究科	生物生産学専攻	3	12	15					15
	アควアバイオ学専攻	3	6	9					9
	食品科学専攻		5	5					5
	食品香粧学専攻	6		6					6
	産業経営学専攻	1	1	2					2
	生物産業学専攻				4	5	9	18	18
小計	13	24	37	4	5	9	18	55	
計	184	198	382	24	28	41	93	475	
東京農業大学									
学校名等									
	1年	2年	3年	4年	計				
農学部	農学科	252	256	274	281	1,063			
	畜産学科	190	215	205	221	831			
	バイオセラピー学科	166	159	174	165	664			
	小計	608	630	653	667	2,558			
応用生物 科学部	バイオサイエンス学科	169	167	179	187	702			
	生物応用化学科	162	156	178	161	657			
	醸造科学科	180	161	176	193	710			
	栄養科学科(食品栄養学専攻)		82	93	92	267			
	栄養科学科(管理栄養士専攻)		87	79	86	252			
	食品安全健康学科	158				158			
	栄養科学科	78				78			
小計	747	653	705	719	2,824				
地域環境 科学部	森林総合科学科	166	172	161	166	665			
	生産環境工学科	152	174	172	151	649			
	造園科学科	172	168	180	173	693			
	小計	490	514	513	490	2,007			
国際食料 情報学部	国際農業開発学科	161	163	169	197	690			
	食料環境経済学科	257	248	281	284	1,070			
	国際バイオビジネス学科	197	207	200	212	816			
	小計	615	618	650	693	2,576			
生物産業 学部	生物生産学科	115	122	119	128	484			
	アควアバイオ学科	96	97	85	104	382			
	食品香粧学科	92	94	99	102	387			
	食品科学科		1		1	2			
	地域産業経営学科	107	104	110		321			
	産業経営学科		1	2	109	112			
小計	410	419	415	444	1,688				
計	2,870	2,834	2,936	3,013	11,653				

学校法人 東京農業大学 2014

(平成26年5月1日現在)
(単位:人)

学校名等		博士前期課程			博士後期課程				計
		1年	2年	小計	1年	2年	3年	小計	
東京情報大学	大学院総合情報学研究科 総合情報学専攻	7	6	13	2		1	3	16
	計	7	6	13	2		1	3	16
学校名等		1年	2年	3年	4年	計			
総合情報学部	総合情報学科	472	461			933			
	情報システム学科		12	163	124	299			
	環境情報学科		5	140	126	271			
	情報ビジネス学科		3	90	100	193			
	情報文化学科		5	68	70	143			
	計	472	486	461	420	1,839			

学校名等		1年	2年	計
東京農業大学 短期大学部	生物生産技術学科	156	144	300
	環境緑地学科	90	80	170
	醸造学科	97	91	188
	栄養学科	106	158	264
	計	449	473	922

学校名等	1年	2年	3年	計
東京農業大学第一高等学校 (全日制の課程) 普通科	349	325	371	1,045
東京農業大学第二高等学校 (全日制の課程) 普通科	593	597	618	1,808
東京農業大学第三高等学校 (全日制の課程) 普通科	432	431	471	1,334
計	1,374	1,353	1,460	4,187

学校名等	1年	2年	3年	計
東京農業大学第一高等学校中等部	189	184	178	551
東京農業大学第三高等学校附属中学校	52	78	82	212
計	241	262	260	763

学生生徒数 合計	19,855
----------	--------

4 役員・教職員の概要

(1) 役員・評議員の状況

(平成26年5月1日現在)

役員 (17名)		評議員 (52名)	
理事長	大澤 貫 寿	高野 克 己	布 広 永 示
常務理事	鈴木 昌 治	牛久保 明 邦	穂 坂 賢
理事	高野 克 己	小 泉 幸 道	松 丸 禎 二
	牛久保 明 邦	渡 部 俊 弘	安 井 和 男
	岡 島 秀 治	夏 秋 啓 子	和 田 輝
	鈴木 敏 郎	鈴木 敏 郎	阿 曾 田 清
	原 慶 太 郎	新 村 洋 一	石 原 憲 一 郎
	古 谷 勇 治	麻 生 恵	尾 崎 義 人
	尾 崎 義 人	友 田 清 彦	北 村 正 平
	福 島 哲 男	黒 瀧 秀 久	小 桧 山 善 継
	外 園 惇	原 慶 太 郎	豊 田 稔
	三 好 吉 清	安 藤 達 彦	鳥 海 稔 雄
	小 澤 寅 男	岡 島 秀 治	福 島 哲 男
	鈴木 昭 憲	村 清 司	外 園 惇
監 事	今 井 教 文	新 井 敏 夫	増 田 武 志
	菅 原 哲 朗	古 谷 勇 治	宮 崎 健 三
	永 井 宏 一	舟 山 亮	持 田 文 男
		廣 谷 淳 一	安 田 舜 一 郎
		三 好 吉 清	山 本 正 孝
		石 川 浩 一	海 野 一 幸
		伊 藤 薫	小 林 常 良
		上 田 勉	中 村 裕
		小 梁 川 雅	西 太 一 郎
		佐 藤 広 頭	萬 歳 章
		鈴木 昌 治	水 谷 洋 一
		手 島 秀 樹	横 澤 馨

※記載順は、寄附行為に定められた順番で記載しております。

III 事業の概要

平成26年度に実施した主な事業は、次のとおりです。

1 教育研究の推進

採択・事業分野	テーマ	大学・学部・所属	事業推進責任者 研究代表者	新規 継続	
学内事業	先端研究プロジェクト	青葉アルデヒドによるトマト果実の代謝制御機構の解明	東京農業大学国際食料情報学部 国際農業開発学科	准教授 小塩 海平	継続
		消化管幹細胞を用いた新規培養系の確立と消化管機能解析	東京農業大学応用生物科学部 食品安全健康学科	准教授 岩槻 健	新規
	大学戦略研究プロジェクト	東南アジアにおける地域農業の持続可能な開発に関する実践的研究	東京農業大学農学部 農学科	教授 根岸 寛光	継続
		藻類の有用遺伝子導入による環境ストレス耐性植物の成長速度の促進	東京農業大学応用生物科学部 バイオサイエンス学科	教授 坂田 洋一	継続
		突然変異株の育種的利用による重金属汚染克服イネ系統の確立	東京農業大学応用生物科学部 生物応用化学科	助教 齋藤 彰宏	継続
		DNAマイクロアレイを用いた食品安全性・有効性評価	東京農業大学応用生物科学部 食品安全健康学科	教授 上原 万里子	継続
		サブサハラ・東アフリカの乾燥地域に適応した持続可能な農業生産体系の確立に関する研究	東京農業大学地域環境科学部 生産環境工学科	教授 豊田 裕道	継続
		ダイジョ新品種の種苗登録とマンゴーの開花制御技術の開発	東京農業大学国際食料情報学部 国際農業開発学科	教授 志和地 弘信	継続
		南太平洋島嶼国における在来植物資源の新規利用開発とソーシャルビジネスの展開	東京農業大学国際食料情報学部 国際農業開発学科	教授 杉原 たまえ	継続
		モンゴル国における持続的耕作農業体系の構築に関する研究	東京農業大学生産学部 生物生産学科	教授 吉田 穂積	継続
		北海道オホーツク海沿岸域の豊かさを支えるメカニズムの解明：低次生産からのアプローチ	東京農業大学生産学部 アグロバイオ学科	教授 塩本 明弘	継続
		北海道産未利用資源を用いたオーガニック農大フグ雄の生産	東京農業大学生産学部 アグロバイオ学科	准教授 松原 創	継続
		ウシ妊娠成立制御機構の破綻に繋がる因子の探索とその分子メカニズムの解明	東京農業大学農学部 畜産学科	助教 白砂 孔明	新規
		安全・健康・おいしさに貢献する乳酸菌の多様性とその活用	東京農業大学応用生物科学部 菌体保存室	准教授 田中 尚人	新規
	モミガラ無殺菌法による低コストきのこ栽培法の開発および高機能性きのこの六次化	東京農業大学地域環境科学部 森林総合科学科	教授 江口 文陽	新規	
	東日本支援プロジェクト	津波・放射能汚染からの農地・森林・営農の迅速・効率的な復興方法の解明	東京農業大学国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科	教授 門間 敏幸	継続
		セシウム汚染土壌での飼料用米のセシウム吸収抑制法の開発	東京農業大学農学部 畜産学科	准教授 信岡 誠治	継続
		福島県森林における放射性物質動態の調査研究	東京農業大学地球環境科学部 森林総合科学科	教授 上原 徹	継続
		被災地における農山村再生（ふるさと再生）のモデル提案	東京農業大学地域環境科学部 森林総合科学科	教授 宮林 茂幸	継続
		宮城県気仙沼における沿岸土地利用モデル構築（干潟再生）への貢献	東京農業大学生産学部 アグロバイオ学科	教授 千葉 晋	継続
バイオマスエネルギー研究プロジェクト	醸造技術を基盤としたバイオ燃料生産	東京農業大学応用生物科学部 醸造科学科	准教授 大西 章博	継続	
文部科学省	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	生命科学と情報科学の融合による農学研究の拠点形成	東京農業大学 生物資源ゲノム解析センター	センター長 矢嶋 俊介	継続
	特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	生物資源ゲノム解析拠点（共同利用・共同研究拠点に認定）	東京農業大学 生物資源ゲノム解析センター	センター長 矢嶋 俊介	継続
	大学発新産業創出拠点プロジェクト	病原体の種類を問わず植物病害を防除できる新型微生物農薬及びその種子処理技術の開発	東京農業大学農学部 農学科	准教授 篠原 弘亮	継続
	地球観測技術等調査研究委託事業	衛星データと気象データを融合したJA参加型営農支援GISの構築	東京農業大学国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科	教授 鈴木 充夫	継続
厚生労働省	厚生労働科学研究費	能登半島における国産麻黄生産拠点の構築	東京農業大学農学部 バイオセラピー学科	教授 御影 雅幸	継続
国土交通省	委託研究	舗装路面の動的たわみ計測装置の開発と健全度評価に関する研究	東京農業大学地域環境科学部 生産環境工学科	教授 竹内 康	継続
林野庁	森林資源総合利用指針策定事業	東京農業大学地域環境科学部 森林総合科学科	教授 宮林 茂幸	継続	
環境省	地球温暖化対策技術開発等事業	東京農業大学地域環境科学部 森林総合科学科	教授 宮林 茂幸	継続	
真庭市	里山資本主義にもとづく中和地域振興事業	東京農業大学地域環境科学部 森林総合科学科	教授 宮林 茂幸	新規	

2 国際連携の推進

■海外協定校締結・世界学生サミット／国際協力センター（東京農業大学）

東京農業大学は、海外の大学等高等教育研究機関との交流ならびに国際協力活動を通じて、本学教職員及び学生の資質向上に資するとともに国際的社会的貢献を推進することを目的として国際協力センターを設置しています。

わが国を代表する農学系・生物系の総合大学として、世界の平和と人類の繁栄に資するため、食料・環境・健康・バイオマスエネルギーの分野での諸問題の解決に向けた国際的な教育研究・協力活動を実施しています。海外提携大学・研究機関との連携によって実学的な国際教育プログラムや国際研究協力を企画運営し、教育研究水準の高度化を図るとともに、蓄積された経験と教育研究成果の社会還元のためにさまざまな国際開発協力プロジェクトを実施しています。

特に、本学は世界トップレベルの農学および生命科学系大学との連携を強化しています。海外の大学と学術協定を締結し、主な学生交流プログラムとして、長期・短期留学・農業研修・語学プログラムおよび世界学生サミットを実施しています。

海外協定校（25カ国・地域、31大学等高等教育機関）

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. アメリカ・ミシガン州立大学(1966年締結) | 17. フランス・リール農業高等学院(2004年締結) |
| 2. タイ・カセサート大学(1988年締結) | 18. フランス・アンジェ農業高等学院(2001年締結) |
| 3. カナダ・ブリティッシュコロンビア大学(1988年締結) | 19. フランス・ロース・アルプス農業栄養高等学院(2004年締結) |
| 4. 中国・中国農業大学(1988年締結) | 20. フランス・ブルバンの技術学院(2004年締結) |
| 5. 台湾・国立中興大学(1992年締結) | 21. オランダ・ワーヘニンゲン大学(2004年締結) |
| 6. インドネシア・ボゴール農科大学(1996年締結) | 22. フランス・ボーベ・ラサール・ポリテクニク学院(2007年締結) |
| 7. モンゴル・モンゴル国立農業大学(1996年締結) | 23. タンザニア・ソコイネ農業大学(2009年締結) |
| 8. ペルー・ラモリーナ国立農業大学(1996年締結) | 24. カンボジア・王立農業大学(2011年締結) |
| 9. フィリピン・フィリピン大学ロスバニオス校(1996年締結) | 25. ブラジル・アマゾン農業大学(2013年締結) |
| 10. 韓国・国立慶北大学(1998年締結) | 26. 英国・レディング大学(2013年締結) |
| 11. イスラエル・ヘブライ大学(1998年締結) | 27. ジブチ・ジブチ大学(2013年締結) |
| 12. ベトナム・ハノイ農業大学(1998年締結) | 28. ラオス・ラオス国立大学(2014年締結) |
| 13. ブラジル・サンパウロ大学(2001年締結) | 29. アメリカ・コーネル大学(2014年締結) |
| 14. メキシコ・チャピング自治大学(2001年締結) | 30. スリランカ・ペラデニア大学(2014年締結) |
| 15. ウクライナ・ウクライナ国立農業大学(2003年締結) | 31. ミャンマー・イエジン農科大学(2014年締結) |
| 16. マレーシア・マレーシアプトラ大学(2004年締結) | |



International Students Summit (ISS) 世界学生サミット

世界の食料・環境問題を考え、人類の持続的発展と青年自らの役割について話し合うために、毎年、海外協定校、外国人留学生および日本人学生が一堂に会して、「新世紀の食と農と環境を考える世界学生サミット」を開催しています。

平成26年度は、9月19日・20日の2日間にわたり、海外協定校等21大学の学生が参集し、タイ国カセサート大学で開催しました。テーマは「食、農、環境分野において、在来の共同体と地域文化が有する伝統的な知識を守りながら改善を進める学生の行動」とし、各協定校および本学からの代表学生が研究を発表し、議論を展開しました。2日間延べ聴講者数は、約1,000名に達成しました。

平成27年度は、10月1日・2日の2日間にわたり、世田谷キャンパスを中心に3キャンパスで同時開催します。テーマは「グローバル化における地域創成のための学生の活動」として議論を展開します。2日間の延べ聴講者数は、約4,000名を見込みます。

3 教育研究施設設備等の整備（主要事業）

■東京農業大学・同短期大学部世田谷キャンパス環境整備

新校舎建設関係

関連整備・研究棟基本構想策定業務 他

用賀圃場返還事業（平成27年3月末返還）

原状復旧工事及び代替圃場・駐輪場整備

新学科インフラ整備（栄養科学科改組に伴う施設設備整備）

13号館改修工事（研究室6室、学科事務室設置）

教育研究用機器備品

（一部文部科学省補助事業＜研究設備＞）

食品安全に関するトキシコゲノミクス・

プロテオミクスデータ評価システム

戦略的研究基盤形成支援事業（文部科学省補助事業）

生命科学と情報科学の融合による農学研究の拠点形成

研究設備（私立大学等研究設備整備費等補助金対象事業）

炭素・窒素・硫黄／水素・酸素測定用EA-IRMSシステム

（国際農業開発学科）

共同利用・共同研究拠点形成事業（文部科学省補助事業）

特色ある共同研究拠点の整備の推進事業（生物資源ゲノム解析拠点）

その他

食品加工技術センター殺菌装置更新

（文部科学省補助事業＜教育基盤設備＞）プレート式熱交換殺菌装置

11号館GHP空調設備・常磐松会館エレベーター更新

正門周辺舗装改修

世田谷キャンパス
13号館改修工事



世田谷キャンパス
研究設備（EA-IRMSシステム）



■東京農業大学厚木キャンパス環境整備

新学生会館建設準備（平成27年度継続事業）

設計監理・施工・既存建物解体移転 他

空調設備更新

研究棟C棟西側4～6階

伊勢原農場（本館棟2階教員室他）

機器備品更新

教室機器備品AV装置一式・学生食堂厨房機器更新

富士農場整備

管理棟給湯ボイラー・搾乳システム更新

研究棟・管理棟経年劣化年次補修（外壁塗装・屋上防水）

講義棟2・3階女子トイレ改修

法面崩落補修

エコセンター（廃棄物処理施設）復旧工事

売店改修工事（セブンイレブン東京農業大学店設置）

厚木キャンパス
新学生会館（完成予想図）



■東京農業大学オホーツクキャンパス環境整備

研究設備(私立大学等研究設備整備費等補助金対象事業)
安定同位体測定装置(アクアバイオ学科)

機器備品更新等

放送設備更新

教室機器備品AV装置修繕

経年劣化年次改修等

8号館トイレ・体育館屋根・第1食堂給湯用温水ヒーター改修

家畜・家禽実習施設補修

ツチクジラ全身骨格標本展示台設置(教育後援会寄付事業)

網走寒冷地農場圃場整備

(北海道補助事業「持続的農業・農村づくり促進特別対策事業」)

オホーツクキャンパス
ツチクジラ全身骨格標本展示台設置



■東京情報大学環境整備

総合演習室設置

1号館視聴覚教室・映像演習室改修及び機器備品設置

1号館トイレ改修

千葉ステーションキャンパス廃止に伴う原状復旧工事

東京情報大学
総合演習室設置



■東京農業大学第一高等学校・同中等部環境整備

経年劣化年次改修等

体育館改修(外壁・外階段塗装、屋上防水等)

1号館遮熱対策

南側隣地境界擁壁改修(万年堀改修)

2号館空調設備更新

第三高等学校・同附属中学校
ゴルフ練習場復旧工事

■東京農業大学第二高等学校環境整備

教員用椅子・パソコン更新

空調設備更新(昭和棟)

■東京農業大学第三高等学校・同附属中学校環境整備

3号棟トイレ改修

空調設備更新(事務室・応接室・図書室)

視聴覚室内装等改修・AV機器更新

ゴルフ練習場復旧工事



4 平成26年度卒業生進路状況（学校別）

大学・短大

(平成27年4月30日現在)

(単位:人)

学部・学科 区分		東京農業大学																						
		農学部				応用生物科学部						地域環境科学部				国際食料情報学部				生物産業学部				
		農学	畜産学	バイオセラピー学科	計	バイオサイエンス学科	生物応用化学科	醸造学	栄養科学科		計	森林総合科学科	生産環境工学	造園学	計	国際農業開発学	食料環境経済学	国際バイオビジネス学	計	生物生産学	アクアバイオ学	食品香料学	産業界経営学	計
卒業生数	274	209	153	636	171	151	180	90	86	678	153	139	166	458	178	265	200	643	114	91	96	94	395	
就職	企業・団体等	205	167	110	482	104	109	135	78	70	496	110	113	130	353	135	212	154	501	83	62	82	81	308
	自営	12	4	0	16	1	0	1	1	0	3	0	1	5	6	3	10	4	17	5	2	0	7	14
進学	大学院・大学	17	9	3	29	55	29	23	5	8	120	14	10	13	37	9	6	13	28	7	12	4	0	23
	短大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門・専修・海外留学	1	3	4	8	0	0	3	1	1	5	3	2	2	7	0	4	5	9	0	0	0	1	1
科目等履修生・研究生	4	0	4	8	3	3	1	0	0	7	6	3	4	13	2	2	3	7	0	1	0	0	1	
研修生・実習生	3	4	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	1	10	1	0	0	0	1	
その他	32	22	32	86	8	10	17	5	7	47	20	10	12	42	24	27	20	71	18	14	10	5	47	

(単位:人)

学部・学科 区分		東京農業大学 短期大学部				東京情報大学 総合情報学部					
		生物生産技術学	環境緑地学	醸造学	米養学	情報ビジネス学	環境情報学	情報システム学	情報文化学	計	
		卒業生数	131	75	89	155	450	93	120	108	63
就職	企業・団体等	40	18	23	75	156	68	95	83	45	291
	自営	9	0	2	1	12	4	0	1	0	5
進学	大学院・大学	47	38	39	49	173	3	2	4	0	9
	短大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門・専修・海外留学	8	3	3	5	19	1	0	1	3	5
科目等履修生・研究生	0	0	5	2	7	0	0	0	0	0	
研修生・実習生	4	0	2	0	6	0	0	0	0	0	
その他	23	16	15	23	77	17	23	19	15	74	

高校

(平成27年4月30日現在)

(単位:人)

区分		学校	東京農業大学 第一高等学校	東京農業大学 第二高等学校	東京農業大学 第三高等学校
卒業 者 数			370 (140)	616 (297)	470 (166)
進 学	大 学	東京農業大学	48 (21)	77 (17)	120 (23)
		東京情報大学	0 (0)	6 (1)	0 (0)
		他 大 学	235 (97)	355 (180)	296 (124)
		計	283 (118) 76.5%	438 (198) 71.1%	416 (147) 88.5%
	短 大	東京農業大学短期大学部	2 (0)	0 (0)	0 (0)
		他 短 大	0 (0)	37 (37)	4 (4)
		計	2 (0) 0.5%	37 (37) 6.0%	4 (4) 0.9%
専修・各種学校		3 (2) 0.8%	64 (47) 10.4%	11 (5) 2.3%	
就 職 者 数			0 (0) 0.0%	4 (1) 0.6%	0 (0) 0.0%
そ の 他 (家 事 等)			82 (20) 22.2%	73 (14) 11.9%	39 (10) 8.3%

注1) ()内は女子内数。

中学

(平成27年4月30日現在)

(単位:人)

区分		学校	東京農業大学 第一高等学校中等部	東京農業大学 第三高等学校附属中学校
卒業 者 数			178 (88)	81 (33)
進 学 校	高 校	東京農業大学第一高等学校	173 (86)	— (—)
		東京農業大学第三高等学校	— (—)	76 (29)
		そ の 他	4 (2)	5 (4)
	計	177 (88) 99.4%	81 (33) 100.0%	
就 職 者 数			0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
そ の 他 (家 事 等)			1 (0) 0.6%	0 (0) 0.0%

注1) ()内は女子内数。

5 平成27年度入学試験状況（推薦・一般・センター入試等の合計）

（単位：人）

学校名等		志願者	受験者	合格者	
東京農業大学	大学院 農学研究科	農学専攻	17	17	17
		畜産学専攻	8	8	8
		バイオセラピー学専攻	5	5	4
		バイオサイエンス専攻	63	59	53
		農芸化学専攻	39	39	29
		醸造学専攻	39	38	24
		食品栄養学専攻	23	22	14
		林学専攻	11	10	10
		農業工学専攻	11	11	11
		造園学専攻	17	17	14
		国際農業開発学専攻	16	16	15
		農業経済学専攻	8	7	7
		国際バイオビジネス学専攻	20	19	15
		環境共生学専攻	1	1	1
	計	278	269	222	
	大学院 生物産業学研究科	生物産業学専攻	1	1	1
		生物生産学専攻	7	7	6
		アクアバイオ学専攻	14	12	12
		食品香料学専攻	4	4	4
		産業経営学専攻	3	3	3
	計	29	27	26	
	大学院計		307	296	248
農学部	農学科	3,678	3,578	1,038	
	畜産学科	1,844	1,804	707	
	バイオセラピー学科	1,970	1,938	614	
	計	7,492	7,320	2,359	
応用生物科学部	バイオサイエンス学科	2,899	2,835	664	
	生物応用化学科	3,036	2,983	725	
	醸造科学科	2,880	2,797	534	
	食品安全健康学科	2,425	2,378	510	
	栄養科学科	1,763	1,705	308	
計	13,003	12,698	2,741		
地域環境科学部	森林総合科学科	1,640	1,596	516	
	生産環境工学科	986	966	524	
	造園科学科	1,224	1,202	377	
	計	3,850	3,764	1,417	
国際食料情報学部	国際農業開発学科	1,374	1,336	496	
	食料環境経済学科	1,687	1,652	555	
	国際バイオビジネス学科	1,181	1,159	470	
	計	4,242	4,147	1,521	
生物産業学部	生物生産学科	816	798	326	
	アクアバイオ学科	822	803	263	
	食品香料学科	612	603	277	
	地域産業経営学科	396	392	206	
	計	2,646	2,596	1,072	
学部計		31,233	30,525	9,110	
大学計		31,540	30,821	9,358	
東京情報大学	大学院 総合情報学研究科	総合情報学専攻	12	12	12
		計	12	12	12
	総合情報学部	総合情報学科	806	784	770
		計	806	784	770
大学計		818	796	782	
東京農業大学短期大学部	生物生産技術学科	529	515	279	
	環境緑地学科	337	328	146	
	醸造学科	520	504	148	
	短大計	1,386	1,347	573	
東京農業大学第一高等学校		817	781	563	
東京農業大学第二高等学校		1,881	1,878	1,685	
東京農業大学第三高等学校		1,145	1,141	1,122	
東京農業大学第一高等学校中等部		1,795	1,339	529	
東京農業大学第三高等学校附属中学校		462	304	243	

IV 財務の概要

平成26年度決算について、その概要を報告します。

1 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金をいいます。)の収入・支出のてん末を明らかにするものです。

平成26年度の資金収支決算は、次表のとおりです。

資金収支総括表

(単位:百万円)

科目	年度	平成26年度		
		予算(1)	決算(2)	差異(1)-(2)
資金収入	経常収入	26,226	26,321	△ 95
	各種特定資産の取崩	715	836	△ 121
	前受金・預り金収入等	5,897	6,083	△ 186
	前年度繰越支払資金	22,278	22,278	0
	収入の部合計(A)	55,116	55,518	△ 402
資金支出	経常支出	22,538	21,237	1,301
	借入元利金支出	141	141	0
	施設・設備関係支出	2,029	1,943	86
	各種特定資産の積立	4,752	4,686	66
	預り金支出等	6,407	6,066	341
	支出の部合計(B)	35,867	34,073	1,794
	次年度繰越支払資金(A)-(B)	19,249	21,445	△ 2,196

(注) 経常収入: 学生生徒等納付金収入・手数料収入・寄付金収入・補助金収入・資産運用収入・事業収入・雑収入。
 経常支出: 人件費支出・教育研究経費支出・管理経費支出。

平成26年度の資金収入総額は、55,518百万円で予算対比402百万円の収入増となりました。この増加の内訳は、経常収入95百万円増、各種特定資産の取崩121百万円増、前受金・預り金収入等186百万円増です。

資金支出総額は、34,073百万円で予算対比1,794百万円の支出減となりました。この減少の内訳は、経常支出1,301百万円減、施設・設備関係支出86百万円減、各種特定資産の積立66百万円減、預り金支出等341百万円増です。

以上の結果、平成27年度へ繰越す次年度繰越支払資金(翌年度へ繰越す現金・預貯金)は、21,445百万円で、予算対比2,196百万円の増加、前年度対比833百万円の減少となりました。

2 消費収支計算書

「消費収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の消費収入・消費支出の内容と均衡の状態を明らかにするものです。

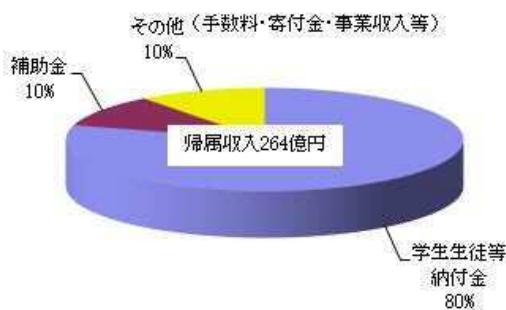
平成26年度の消費収支決算は、次表のとおりです。

消費収支総括表

(単位:百万円)

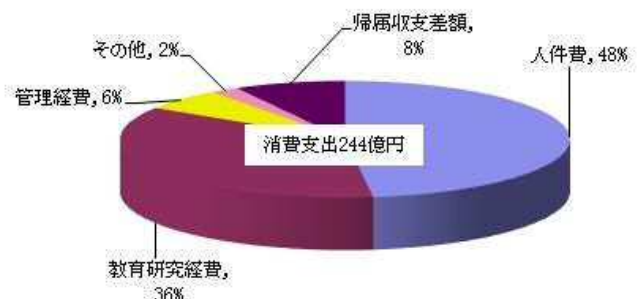
科目	年度	平成26年度		
		予算(1)	決算(2)	差異(1) - (2)
消費収入	学生生徒等納付金	21,078	20,973	105
	補助金	2,585	2,669	△ 84
	その他	2,585	2,753	△ 168
	帰属収入合計(A)	26,248	26,395	△ 147
	基本金組入額合計	△ 1,001	△ 678	△ 323
	消費収入の部合計(B)	25,247	25,717	△ 470
消費支出	人件費	12,836	12,644	192
	教育研究経費	10,441	9,563	878
	管理経費	1,925	1,660	265
	その他	399	486	△ 87
	消費支出の部合計(C)	25,601	24,353	1,248
当年度帰属収支差額(A) - (C)		647	2,042	△ 1,395
当年度消費収支差額(B) - (C)		△ 354	1,364	△ 1,718
前年度繰越消費収入超過額		5,750	5,750	0
基本金取崩額		58	119	△ 61
翌年度繰越消費収入超過額		5,454	7,233	△ 1,779

帰属収入の構成比率



消費支出の構成比率

(対帰属収入割合)



<消費収入の部>

平成26年度の帰属収入合計（学生生徒等納付金、寄付金、補助金等の学校法人に帰属する収入）は、26,395百万円で予算対比147百万円の収入増です。予算対比で収入減となった科目は、学生生徒納付金105百万円減、寄付金73百万円減、資産運用収入35百万円減、事業収入49百万円減です。

また、収入増となった科目は、手数料128百万円増、補助金84百万円増、雑収入197百万円増です。

基本金組入額合計は、678百万円で予算対比323百万円の組入減です。

帰属収入合計から基本金組入額合計を控除した消費収入の部合計は、25,717百万円で予算対比470百万円の増加です。

<消費支出の部>

消費支出の部合計（教職員の人件費、教育研究活動及び法人運営に必要な諸経費）は、24,353百万円で、予算対比1,248百万円の支出減です。支出減となった科目は、人件費192百万円減、教育研究経費878百万円減、管理経費265百万円減です。

また、予算対比で支出増となった主な科目は、資産処分差額297百万円増です。

以上の結果、消費収入から消費支出を差し引いた当年度の消費収支差額（基本金取崩後）は、予算では296百万円の支出超過を見込んでいましたが、決算は1,483百万円の収入超過となりました。

翌年度へ繰り越す消費収入超過額は、次式の通り7,233百万円です。

当年度消費収入超過額（基本金取崩後）	1,483百万円
+前年度繰越消費収入超過額	5,750百万円
翌年度繰越消費収入超過額	7,233百万円

3 貸借対照表

「貸借対照表」は、資産の部、負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部を設け、資産、負債、基本金又は消費収支差額の科目ごとに、当該会計年度末の額を前会計年度末の額と対比して記載するものです。

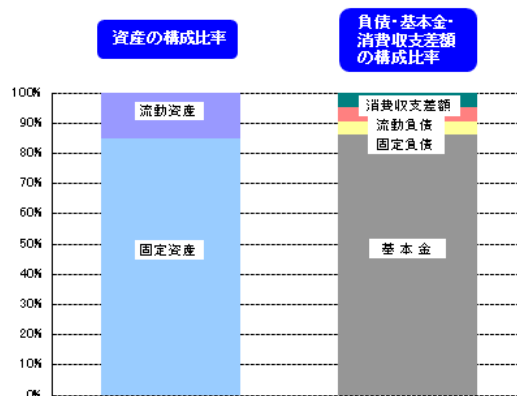
平成26年度末の貸借対照表は、次表のとおりです。

貸借対照表

資産の部		(単位:百万円)		
科目		平成26年度末(1)	平成25年度末(2)	増減(1) - (2)
資産の部	固定資産	127,789	125,268	2,521
	流動資産	22,490	23,301	△ 811
合計		150,279	148,569	1,710

負債の部・基本金の部・消費収支差額の部

科目	平成26年度末(1)	平成25年度末(2)	増減(1) - (2)	
負債の部	固定負債	6,225	6,363	△ 138
	流動負債	6,999	7,194	△ 195
	計	13,224	13,557	△ 333
基本金の部	129,822	129,262	560	
消費収支差額の部	7,233	5,750	1,483	
合計	150,279	148,569	1,710	



平成26年度末の固定資産は、減価償却引当特定資産への積立等により前年度対比2,521百万円の増加となりました。また、流動資産は現金預金を中心に前年度対比811百万円の減少となりました。

一方、固定負債は退職給与引当金の減少、流動負債は短期借入金金の減少により、負債の部は前年度対比333百万円の減少となりました。

なお、上記固定資産の取得、及び「人物を畑に還す奨学金制度」に伴う第3号基本金の組入れ等により基本金は前年度対比560百万円増加し、消費収支差額は前年度対比1,483百万円の増加となりました。

4 資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の経年比較

資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の経年比較は、次表のとおりです。

(1) 資金収支計算書の経年比較

(単位:百万円)

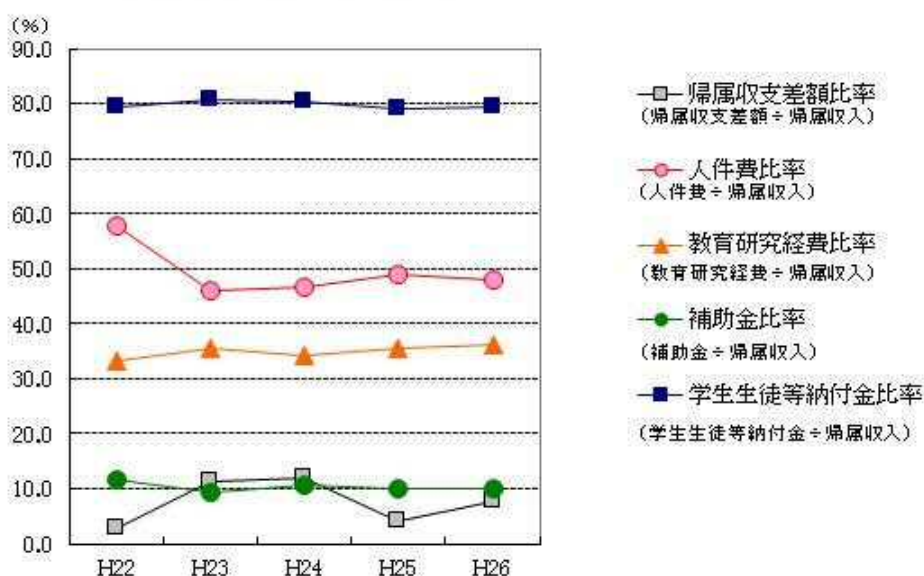
科目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
収入の部	学生生徒等納付金収入	22,034	21,878	21,618	21,053	20,973
	手数料収入	977	961	952	962	890
	寄付金収入	209	163	204	258	266
	補助金収入	3,198	2,523	2,829	2,632	2,669
	資産運用収入	289	216	132	165	159
	資産売却収入	109	102	1	106	6
	事業収入	438	547	555	629	594
	雑収入	518	640	573	857	764
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	前受金収入	5,190	4,979	5,004	5,081	5,059
	その他の収入	13,488	15,045	11,266	12,193	7,772
	資金収入調整勘定	△ 5,798	△ 5,833	△ 5,637	△ 5,914	△ 5,912
	前年度繰越支払資金	18,975	21,087	21,648	22,406	22,278
合計	59,627	62,308	59,145	60,428	55,518	
支出の部	人件費支出	12,399	12,731	12,615	13,048	12,774
	教育研究経費支出	7,025	7,438	6,932	7,157	7,120
	管理経費支出	1,216	1,264	1,278	1,377	1,343
	借入金等利息支出	16	13	9	2	1
	借入金等返済支出	195	195	363	140	140
	施設関係支出	3,400	3,954	3,836	3,105	1,178
	設備関係支出	780	1,466	698	1,629	765
	資産運用支出	7,237	7,012	4,170	4,365	4,692
	その他の支出	6,498	7,089	7,215	7,762	6,608
	資金支出調整勘定	△ 226	△ 502	△ 377	△ 435	△ 548
	次年度繰越支払資金	21,087	21,648	22,406	22,278	21,445
	合計	59,627	62,308	59,145	60,428	55,518

(2) 消費収支計算書の経年比較

(単位:百万円)

科目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
消費収入の部					
学生生徒等納付金	22,034	21,878	21,618	21,053	20,973
手数料	977	961	953	962	890
寄付金	256	350	282	305	340
補助金	3,198	2,523	2,829	2,632	2,669
資産運用収入	289	216	132	165	159
資産売却差額	0	0	0	0	0
事業収入	438	547	555	629	594
雑収入	524	643	580	860	770
帰属収入合計	27,716	27,118	26,949	26,606	26,395
基本金組入額合計	△ 6,063	△ 7,510	△ 2,829	△ 416	△ 678
消費収入の部合計	21,653	19,608	24,120	26,190	25,717
消費支出の部					
人件費	16,037	12,456	12,532	12,981	12,644
教育研究経費	9,180	9,643	9,258	9,465	9,563
管理経費	1,478	1,525	1,624	1,712	1,660
借入金利息	16	13	9	2	1
資産処分差額	201	366	282	1,377	485
徴収不能額	0	18	0	0	0
消費支出の部合計	26,912	24,021	23,705	25,537	24,353
当年度帰属収支差額	804	3,097	3,244	1,069	2,042
当年度消費収支差額	△ 5,259	△ 4,413	415	653	1,364
前年度繰越消費収支差額	14,281	9,022	4,624	5,057	5,750
基本金取崩額	0	15	18	40	119
翌年度繰越消費収支差額	9,022	4,624	5,057	5,750	7,233

消費収支関係比率の推移



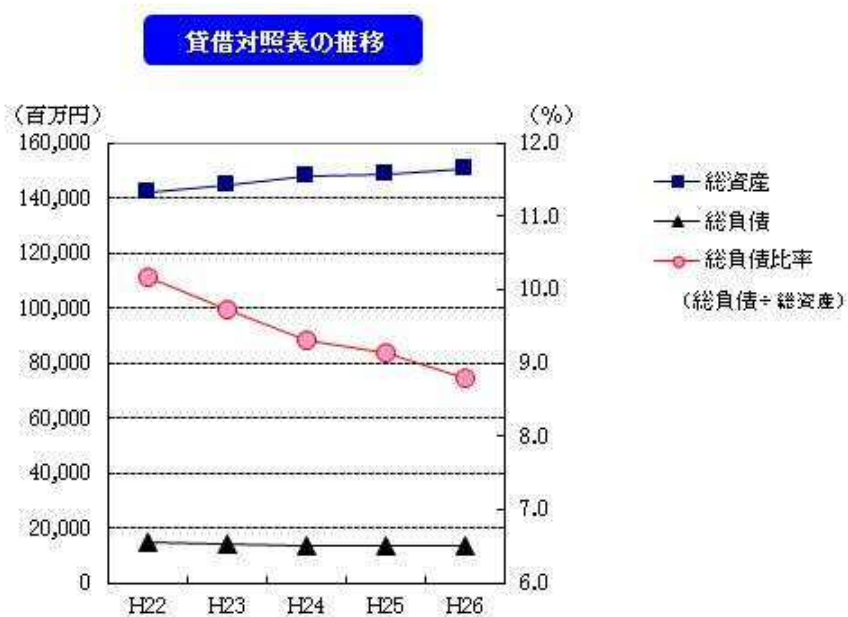
(3) 貸借対照表の経年比較

資産の部 (単位:百万円)

科目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
資産の部	固定資産	120,193	122,383	124,394	125,268	127,789
	流動資産	21,859	22,388	23,292	23,301	22,490
合計	142,052	144,771	147,686	148,569	150,279	

負債の部・基本金の部・消費収支差額の部

科目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
負債の部	固定負債	7,374	7,092	6,615	6,363	6,225
	流動負債	7,075	6,979	7,128	7,194	6,999
	計	14,449	14,071	13,743	13,557	13,224
基本金の部	118,581	126,076	128,886	129,262	129,822	
消費収支差額の部	9,022	4,624	5,057	5,750	7,233	
合計	142,052	144,771	147,686	148,569	150,279	





学校法人 東京農業大学